

マスコットキャラクター

『ふくまる』

2024年
6月号

地域とあなたと私を結ぶ定期便

Vol. 78



発行元:公益財団法人復康会 社会復帰事業部

〒410-0811 沼津市中瀬町 17 番 11 号 TEL 055-931-0510 FAX 055-934-1697

祝

ピアスタッフ、働き始めて5年が経ちました!

祝

「サポートセンターなかせ」では令和1年7月より正式にピアスタッフ2名を雇用し、5年が経過しようとしています。大きな法制度の変化の中で、ピアサポート活動に対する重要度や必要性は益々高まっているものと思います。今回はそんな2人にインタビュー形式で、現在・そして未来について答えてもらいました。

Q1.この5年間で振り返って

【石川】長いようで、短いような…というのが素直な感想です。
いろいろな人に出会えて良かったなという想いはあります。

【山崎】始めの頃は先ずは3年の辛抱だと思いながら仕事をしていました。気が付けば6月で丸5年となり、
社会人としてはやっと若手になれたと思います。



Q2.印象に残っている出来事は

【石川】地域移行支援で退院のお手伝いできた事です。
やっぱり、症状があったとしても、地域で暮らすのが基本だなと感じました。

【山崎】病棟訪問の際に入院されてる方が重い感情を吐露された後、心配になりましたが
「そのあとに体調が快復して元気になりましたよ」と病棟スタッフから話があり
「ああ…自分の仕事も役立って良かった」と思いました。



Q3.ピアスタッフとして大切にしていること

【石川】ひとりの人として関わる事、興味を持って接する事。共感力を高めようとしている事。
いつも、初心であろうと意識している事。類型的な捉えかたをしない事。自己決定を尊重する事。
できれば楽しく過ごしたいと思う事。笑いを大事にする事。社会に対する怒りを忘れない事。
自分がされたらイヤな事はしない事。悩む事。出る杭になろうとする事。

【山崎】仕事というか生活というか、山崎自身も当事者として社会に残ることを軸に、その中の体験や
経験を他者に押し付けないようにお伝えすることを大切にしています。
なかなか今でも出来ることではありません。

Q4.これからチャレンジしたいこと

【石川】60歳まで生きる事。

【山崎】精神科の基礎・基本を改めて勉強し直し、その中でピアとしてアレンジできる場所を探して
行きたいと思います。例えば、「リカバリーの日本的文脈」というテーマを追求したいです。

ゆめワーク

職場体験

5/16～17の2日間、伊豆の国市立大仁中学校2年生2名が職場体験に来てくれました。主には就労B事業所において、利用者さんと一緒に軽作業やパン作りに取り組んでいただきました。また、「精神保健福祉士」の使命や役割について学んでいただき、事業所側にとってもメンタルヘルスを含めた普及啓発の機会にもなりました。今後も小中高生の福祉体験・職場体験などを受け入れ、地域との交流を図ってまいります。

(武井 紗知)



ワークショップ まごころ

クリーム・ド・クオーレでは季節の商品として、「抹茶ぷりん」と「赤じそゼリー」を販売しています。抹茶ぷりんは静岡県産抹茶をふんだんに使用し、香り高く濃厚でさわやかな味わいです。赤じそゼリーは赤じその葉を絞ってさっぱりと仕上げた栄養たっぷりヘルシーなゼリーとなっています。是非、ご賞味ください。

(本田 幸江)



かのん

5月1日にサポートセンターほっとから異動になりました。はじめての就労支援事業所の勤務となり、緊張と不安でいっぱいスタートとなりましたが、明るく優しい利用者さんと親切なスタッフに支えられなんとか毎日を過ごしています。なるべく早く仕事を覚えて、かのんを支える一員になるべく努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

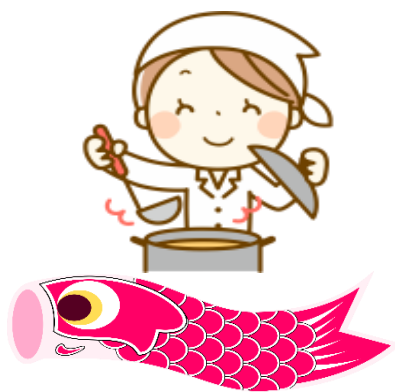
(長谷川 真美)



コーポ狩野

5/3～5/6の期間はお弁当の配達がなく、夕食はスタッフが提供しましたが、朝食・昼食は利用者さんが事前に仲間同士やスタッフと一緒に買い物に行き、調達してきました。朝食は殆どの方がカップラーメンを食べ、昼食はレトルト食品や冷凍食品をレンジで温めて食べる方、日頃から調理をしている方はカレーやパスタ、焼肉等を作って食べていました。中には初めて電子レンジを使用する方、自炊をする方もいて、にぎやかな食事の時間でした。

(松田 浩子)



なかせ



ピアスタッフと働き始めて、5年が経過します。時が経つのは早いなあ実感しております。精神保健福祉士として彼らと仕事をしていますが、どんな仕事をしているかと問われることも多いです。現在は一緒に利用者の来所相談を聞いたり、必要に応じて訪問することもあります。地域移行支援を一緒に行うこともありました。利用者のケース会議に一緒に参加し、当事者目線で各支援者に向けて意見を伝えることもあります。個別の支援に関わらず、一緒に働くことで職場の雰囲気づくりや、ちょっとした声掛けがいかに重要かということを考えるきっかけになると日々感じます。彼らから学ぶことは多く、支援をするにあたり大切な視点を思い起こさせてくれる存在です。これからも利用者にとってより良い支援が出来るように、彼らと協働していきたいと思えます。

(山下 圭美)

ひまり



利用者さんの地域生活を支えるため、居宅介護事業所と連携をとることがあります。いろいろな事業所とやりとりする中で、三島市外の事業所とも関わる機会が増えてきました。多様な社会資源を活用し、利用者さん一人一人が希望する生活に役立てられるよう、今後もどんどんネットワークを広げていきたいです。

(笹原 紀子)

りりび

5月18日、伊東市のはばたきにて利用者さんと「冷やし中華」を作りました。少し季節が早いかとも思いましたがその日は気温が高く「5月に食べるのは初めてだけど夏に食べる時よりも美味しく感じる」と言ってくれました。私としても5種類の具材がのっている豪華な冷やし中華を食べたのは久しぶりだったため、とてもよい体験になりました。

(長尾 美紀)



ほっと

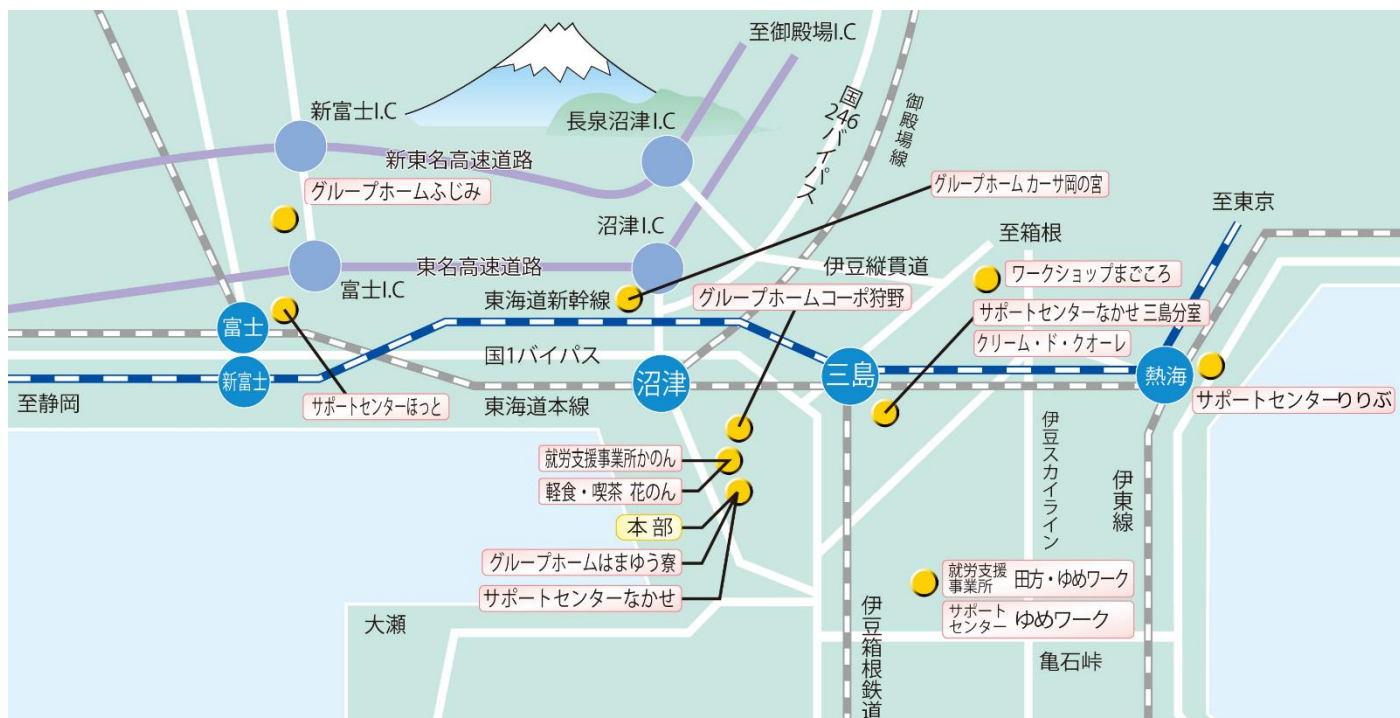
5月1日から、職員の異動がありましたのでご挨拶！沼津中央病院から異動してきた「北館美沙依」です。久々に相談支援事業所勤務となり、業務を思い出すのに必死です。富士市を満喫しつつ、地域に貢献できるよう、努めて参りたいと思えます。よろしくお願ひします。(*^_^*)

(北館 美沙依)



黄色の横断バックが目印☆
「可愛いですね」と、声をかけてもらえる、嬉しいです。
宜しくお願ひします。

社会復帰事業部施設MAP



サポートセンターなかせ 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680

サポートセンターりりぶ 熱海市田原本町9-1 熱海第一ビル2F TEL0557-82-5680

サポートセンターゆめワーク 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

サポートセンターほっと 富士市日乃出町165-1 サンミック静岡ビル104 TEL0545-32-8160

サポートセンターひまり 三島市一番町7-19 高野ビル4F TEL055-991-1180

グループホームカーサ岡の宮 沼津市岡宮612番1号 TEL055-935-5680
(サポートセンターなかせ)

グループホームはまゆう寮 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680
(サポートセンターなかせ)

グループホームふじみ 富士市厚原1138-6 ムーンビームス TEL0545-32-8160
(サポートセンターほっと)

グループホームコーボ狩野 沼津市中瀬町24番1号 TEL055-933-1038

就労支援事業所かのん 沼津市中瀬町19-20 TEL055-933-8500
(軽食・喫茶花のん) 沼津市中瀬町18-28 TEL055-933-8502

ワークショップまごころ 三島市宇エビノ木4745-456 TEL055-985-2666
(クリーム・ド・クオーレ/作業所) 三島市一番町7-19高野ビル1F/2F TEL055-976-9000

就労支援事業所田方・ゆめワーク 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

編集後記

今月の巻頭記事はピアスタッフ5周年インタビュー。この仕事で一番大切な「寄り添う」ことを体現されているお二人ですが真面目に語っている様子を想像すると笑いがこみ上げてくるほど普段は楽しい方達です。これからも利用者と支援者の架け橋として頼りにしています！

ふくむすび編集部